

2 三田のインフラを支える

スマホで簡単に通報(道路・公園・不法投棄)

道路や公園の不具合や不法投棄を発見した時に、市公式LINEなどから簡単に通報できます。通報の際に、個人情報の入力には不要。
 問い合わせ＝<道路>道路河川課(559-5101 FAX 563-3359)、<公園>公園みどり課(559-5110 FAX 559-7130)、<不法投棄>環境創造課(559-5080 FAX 563-3359)、<市公式LINE>秘書広報課(559-5040 FAX 563-1366)



道路の不具合通報は、3年1月～5年12月末時点で548件ありました。損傷箇所の写真や位置をデータで受け取るため、現場確認がととてもスムーズです。



道路河川課職員

自動運転バスの実現に向けて

昨年10月から1カ月間、ウッドタウン地区内で自動運転バスの実証実験を行いました。運行時の動画をYouTubeに！(右記2次元コード)
 問い合わせ＝交通まちづくり課(555-6777 FAX 559-7400)



— 特集 —

デジタルで暮らしやすいまちに

三田市は、デジタル技術やデータを活用し、みなさんの暮らしが便利で豊かになることを目指しています。
 例えば、「図書館カードをスマホの中に」「病児保育の利用を簡単に」「市公式LINEで市から災害情報を得る」など、幅広い世代が利用するさまざまな場面にデジタル技術の導入を進めています。
 今回の特集では、市が推進する取り組みを紹介し、デジタル施設に行かなくても、デジタル機器(パソコンやスマホ)を使って、できることがどんどん広がっている三田。ぜひみなさんの暮らしに取り入れてみてください！
 問い合わせ＝スマートシティ推進課(559-5096 FAX 562-3555)

三田のデジタルを活用した取り組みを覗いてみよう！

1 手続きを簡単に

マイナンバーカードで楽々手続き！

インターネットからの申請で、戸籍謄本・抄本などを郵送で受け取れます。
 問い合わせ＝市民課(559-5068 FAX 560-2101)



マイナンバーカードがあれば、近くのコンビニで住民票の写しや印鑑登録証明書、所得・課税証明書を取得可能！

急な病気の子どもを預かってもらえる

家庭や保育所などで保育が困難な子どもを一時的に預かる「病児・病後児保育」。施設利用にインターネット予約サービス「あずかるこちゃん」を導入！窓口での事前登録が不要になり、スマホなどから利用者登録・予約ができます。
 問い合わせ＝保育振興課(559-5073 FAX 563-3611)



病児保育利用者

以前は、窓口での初回登録や事前面談などが必要でしたが、今は「あずかるこちゃん」で利用者登録ができ、利用しやすくなりました。また、予約やキャンセルが時間を問わずインターネットでできるようになり助かっています。

3 みんなが便利を共有するために

これからスマホデビューでも参加できる講座

電源の入れ方からSNSの使い方など、理解度に合わせた受講が可能です！詳細は、下記2次元コードまたは「三田市 2月 スマホ講座」で検索ください。
 日時＝2月3日～6日・10日～13日 ①10時～②11時15分～③13時～④14時15分～ ※各講座1時間
 問い合わせ＝若者のまちづくり課(559-5041 FAX 563-1366)
 ※今後行うスマホ講座の受講者募集は、随時市広報誌などでお知らせします



スマホ講座参加者

5年前からスマホを持っていますが、使っていたのは電話くらい。でも、講座での説明を聞いてからは、それまで参考書を読んでも理解できなかった部分ができるように！これからは少しずつ生活にスマホを取り入れ、身の回りを便利にしていけたらいいですね。

市民センターでの支払いをキャッシュレスに

PayPayなどによる支払いが可能に！フラワータウン市民センターとウッドタウン市民センターでは、スマートフォン決済サービスなどが使えるセルフレジを導入。貸館使用料や証明書発行手数料などの支払いに対応。
 問い合わせ＝協働推進課(559-5039 FAX 562-3555)



市民センター利用者(市民団体 MOVEMENT)

ダンスグループの練習で週3回ほど利用しています。荷物が多いときや子どもを抱えているときも現金でやりとりするのではなく、タッチ決済で簡単に支払いができて助かっています。

デジタル化が進めば 生活はどう変わる？

たとえば・・・



Aさんの場合

- ▶ 災害時、市公式LINEから届く地区別の避難情報をチェック
- ▶ 脳の健康度をアプリで診断、フレイル予防



Bさんの場合

- ▶ 児童や園児などの欠席連絡やお知らせの受け取りをアプリで行う
- ▶ タブレット端末の学習アプリで個別最適化されたドリルで学ぶ



Cさんの場合

- ▶ ウォーキングなどで貯めたアプリのポイントを電子マネーへ
- ▶ 平日の日中に市役所に行かなくても、インターネットで申請し、受け取れる

今後どんなことが始まる？

POINT 01

デジタルを活用した認知症の人の見守り

市内で毎年数十件、認知症の人の保護事例が発生しています。そこで、「みまもりタグ(右下)」というデジタル機器を活用した見守りの実証実験を行います。「みまもりタグ」とは、高齢者などに身につけてもらう小型の端末で、検知器が受信した位置情報を家族が確認できます。問い合わせ＝いきいき高齢者支援課(559-5070 FAX 563-7776)



POINT 02

浸水センサの設置

近年、大雨による浸水被害や河川の氾濫が頻発しているため、いち早く浸水の状況を把握し、迅速な災害対応が重要です。そのため、浸水の危険性がある地域にセンサを設置し、リアルタイムに状況把握する取り組みを進めています。問い合わせ＝スマートシティ推進課(559-5096 FAX 562-3555)



！ 三田市が目指す未来とスマートシティ

日本全体で人口が減少する中、三田市でも高齢化が進むなど、今後もまちづくりを進める上でさまざまな課題があります。一方で、スマートフォンを起点としたサービスが多く普及し、マイナンバーカードの健康保険証の利用が始まっているほか、運転免許証の利用も予定されるなど、社会全体のデジタル化が進んでいます。

三田市は、令和2年度からデジタル技術やデータを活用し、まちの課題解決に取り組む「スマートシティ」を推進しています。令和4年4月に「さんだ里山スマートシティ」構想を策定し、そのシンボルとなるロゴマーク(左記)は市民公募により決定しました。また、多くの民間企業や大学、市民団体などと連携してさまざまな事業を行っています。

デジタル技術が日常生活で簡単に使えるように普及し、多くの皆さんが利用することで、より便利なサービスへと充実していきます。窓口へ行かなくていい、待ち時間がないなど、ゆとりのある暮らしに向け、メリットも豊富。「市民一人一人が幸せを実感しながら住み続けられるまち三田」の実現を目指していきます。



4 暮らしをもっと楽しく



図書館を手軽に楽しく使いこなそう！

昨年10月から自動貸出機による本の貸し出しやスマートフォン版図書館カードの利用が開始！加えて、マイナンバーカードを活用した新サービスが始まっています。また、市公式LINEから図書館カードへアクセスできるようになりました。(右下記事参照) 問い合わせ＝文化スポーツ課(559-5144 FAX 563-1360)



図書館利用者

本を借りるとき、以前は窓口に本のバーコードを揃えて渡し、スタッフが一冊ずつ読み取っていました。今は向きを気にせず本を重ねて自動貸出機の台に置くだけで一括で自動読み取りされスピーディー！また、スマホで図書館カードを表示するだけで借りられ、利用しやすくなりました。

POINT 01

スマートフォンを使って新規利用者登録が可能に！

新規利用者の登録申請が従来の図書館窓口に加え、インターネットからもできるようになりました。図書館に行かなくても、利用者登録と本の予約が可能だから、訪れるのは借りたい本が準備できてから！

インターネットから新規利用者登録ができる対象者：三田市民で、マイナンバーカードの利用者証明用電子証明書を取得している人



※すでに利用者登録している人も、図書館HP内のマイページでログインをしてからマイナンバーカードとの連携登録を行うと、利用登録有効期限の延長や住所変更などをインターネットで行えます。(一部条件により窓口での手続きが必要な場合があります)

POINT 02

マイナンバーカードに図書館カード機能も！

マイナンバーカードを図書館カードとして利用できます。館内の自動貸出機などでマイナンバーカードを利用すると利用登録有効期限が自動で延長され、3年ごとの更新手続きが不要になります。*利用はマイナンバーカードの連携登録が必要で、5年10月以前にマイナンバーカードの連携をしている場合も再度申請が必要です。

POINT 03

電子図書館をもっと便利に！

図書館の蔵書を探す検索システムで、紙書籍と電子書籍を同時に検索できます。



ウォーキングで電子マネーをゲット！

ウォーキングや健(検)診受診などを通じてポイントを貯め、電子マネーなどに交換することができる市民健康アプリサービス「さんだっぶ」。日々の健康づくりをアプリで見える化！ 問い合わせ＝健康増進課(559-6155 FAX 559-5705)



ポイントの交換(3月～予定)

ポイント交換申請時点で18歳以上の三田市民に限り、マイナンバーカードの公的個人認証を行うことで、PayPayなどの電子マネーに交換できます。



さんだっぶ登録・操作支援会

アプリのダウンロードや操作方法などを、市職員や学生ボランティアが説明します ※予約不要 日時＝2月13日(火)・14日(水)、3月14日(木)・15日(金) 各日10時～16時 場所＝市役所本庁舎1階ロビー



市公式LINEで情報に簡単アクセス！

災害情報などの緊急情報やイベント情報の配信だけでなく、3つのメニューから知りたい情報にアクセスできます。 問い合わせ＝秘書広報課(559-5040 FAX 563-1366)



▶ 基本メニュー
通報システムやごみの収集日検索、図書館カードへ簡単にアクセスできます。

▶ 防災・救急
ハザードマップさんだや避難所の混雑状況が確認できます。

▶ イベント・移住
市内開催イベントやLINE友だち登録者限定プレゼントへの応募(13頁)ができます。

